

27年 第2学年 家庭 年間指導計画

1 教科目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 評価の観点

生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3 評価基準（100点満点）

観点 方法	生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術につい ての知識・理解	合計
定期試験	10	10	10	20	50
提出物	5				5
忘れ物・授業態度	10				10
作品		15	15		30
小テスト				5	5
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「新しい技術・家庭 家庭分野」（東京書籍）

5 年間学習計画（計 35時間）

学期	月	単元名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法
1	4	2編 わたしたちの衣生活と住生活	衣服と社会生活とのかかわりを理解できる。 ・目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 ・衣服の適切な選択ができる。 ・衣服の基本的な構成を理解できる。 ・立体構成と平面構成の違いをまとめることができる。	2	・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫をしている。（工夫） ・安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。（技能） ・布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。（知識）	観察 提出物 自己評価 実技試験
	5	○わたしたちの衣生活 1 衣服のはたらき				
	6	★言語活動 衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる		11	・衣服と社会生活とのかかわりに関心をもち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。（関心） ・目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。（工夫） ・衣服の社会生活上の機能について理解している。（知識） ・目的に応じた衣服の適切な選択について考え、工夫している。（工夫） ・既製服を選択するための情報を収集・整理することができる。（技能） ・既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。（知識）	
	7	2 衣服を選ぼう ○わたしたちの衣服 製作 1 衣服の構成を知ろう				

2	9	2 製作計画を立てよう ★言語活動 各自で実践したことをまとめ発表し合う	・効率的に製作するために製作計画を立てることができる。 ・製作に必要な材料や用具を準備し、用具の正しい使い方を理解できる。 ・基本的な縫製技術を理解できる。	10			提出物 自己評価 観察
	11	3 衣服の手入れと補修	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。				
	12	4 よりよい衣生活を目指して ○住生活と自立 1 住まいの役割とは何だろうか	・衣生活の自立に向けて、自分にできることを具体的に考えることができる。 ・家族の住空間について考える事ができる。				
3	1	2 家族と住まいのかかわりを考えよう	・住居の基本的な機能について知ることができる。 ・生活行為と必要な住空間を挙げる事ができる。	4		・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。(関心) ・衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修について考え、工夫している。(工夫) ・衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の洗濯ができる。(技能) ・補修の目的と布地に適した方法で衣服を補修することができる。(技能) ・洗濯の要点と方法について理解している。(知識) ・補修の目的と布地に適した方法について理解している。(知識) ・衣服の活用や管理について、自分なりに工夫している。(工夫)	定期試験
	2	3 安全に住むためにはどうしたら良いだろう	・家族の安全を考えた室の合い空間の整え方を知り、安全な住まい方を考える。 ・家族の健康を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。			・さまざまな住まいに関心を持ち、住生活をより良くしようとしている。(関心) ・住居の基本的な機能について理解している。(知識)	
	3	4 健康で快適な室内環境を考えよう	・家族が安全で健康的に安心して住むために自分にできることを具体的に考える事ができる。 ・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。				
3	1	○わたしたちの消費と環境 1 消費生活について	・物資やサービスを選択するためのポイントを理解できる。 ・情報の利用の仕方を理解する。 ・様々な販売方法と支払い方法を理解する。	8		・消費者生活に関心を持って学習しようとしている。(関心) ・物資やサービスの選択方法を知り、工夫して選択できる。(工夫) ・物資やサービスの適切な選択・購入・活用ができる。(技能)	提出物 自己評価 観察
	2	★言語活動 消費者トラブルの解決方法をグループで話し合い、発表する	・契約成立によって生じる権利と義務を理解する。			・表示やマークについて理解し、販売方法と支払い方法について理解する。(知識) ・消費者問題のトラブルの対策を自分で工夫できる。(工夫)	
	3	3 生活の中における環境への影響 ★言語活動 環境に配慮した消費者生活とはどのようなことか、話し合う	・消費者を取りまく問題とその解決方法、関連する法律を知る。 ・消費者の権利を理解する。 ・自分の生活と環境のつながりを理解し、環境に配慮した実践ができるようにする。			・消費者問題の解決方法を知り、消費者の権利を理解する。(知識) ・消費者生活と環境を考えて、自分にできることを考えることができる。(工夫) ・消費者生活が環境へ与えることを理解し、改善策を考えることができる。(知識)	

